

# 令和3年度 すくすくウォッチの結果について

令和3年(2021年)11月1日  
枚方市立五常小学校

## 調査の目的等

### 1. 調査目的

○子どもたち一人ひとりが、学びの基盤となる言語能力や読解力、情報活用能力を向上させ、これからの予測困難な社会を生き抜く力を着実につける。

### 2. 調査実施期間及び調査の対象

令和3年(2021年)5月26日(水)～6月2日(水) 小学校第5・6学年の児童

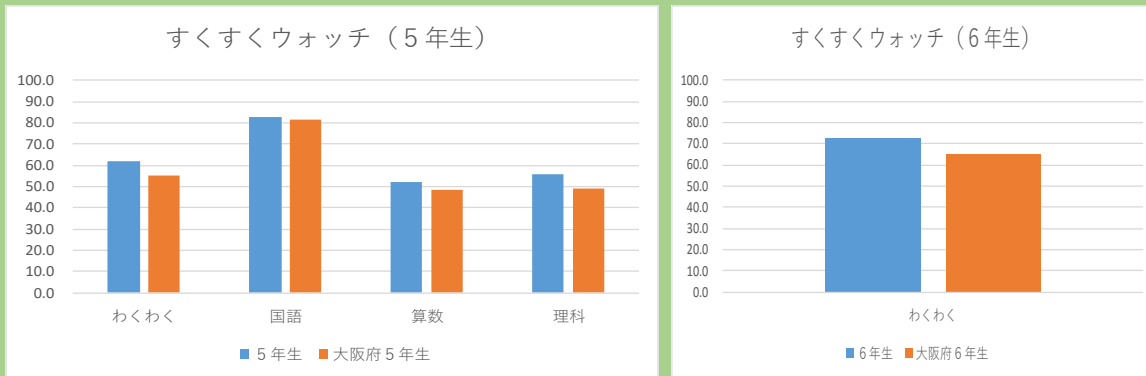
### 3. 調査内容

#### (1) 教科に関する調査

5年生・・・国語・算数・理科・わくわく問題(教科横断型)・アンケート

6年生・・・わくわく問題(教科横断型)・アンケート

## 令和3年度すくすくウォッチの結果



## 全体的な傾向について

5年生の国語・算数・理科の平均正答率は、大阪府平均を上回っていました。

5・6年生のわくわく問題ともに平均正答率は、大阪府平均を上回っていました。

#### ○国語について

助詞を正しく使ったり、適切な同義語・対義語を選択することは9割以上の正答率でした。一方で、適切な既習漢字を使って書き直すことや主語と述語がねじれた文において、述語を書き直すことに課題がありました。

#### ○算数について

グラフから正しく数値を読み取ることは9割以上の正答率でした。一方で、伴って変わる二つの関係を式に表したり、辺の長さや面積の関係を理解したりすることに課題がありました。

#### ○理科について

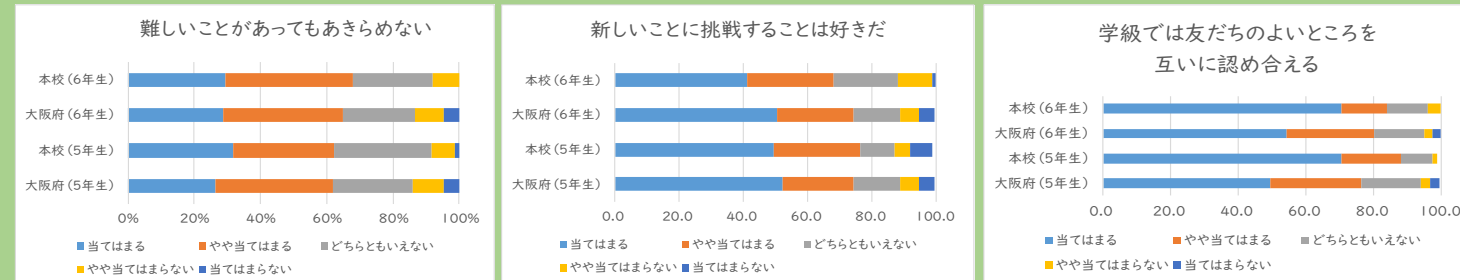
方位磁針などの実験道具の使い方などは8割近くの正答率でした。一方でグラフからデータを読み取って、それをもとに自分で考えたり、豆電球が光らない原因を選んだりすることに課題がありました。

#### ○わくわく問題

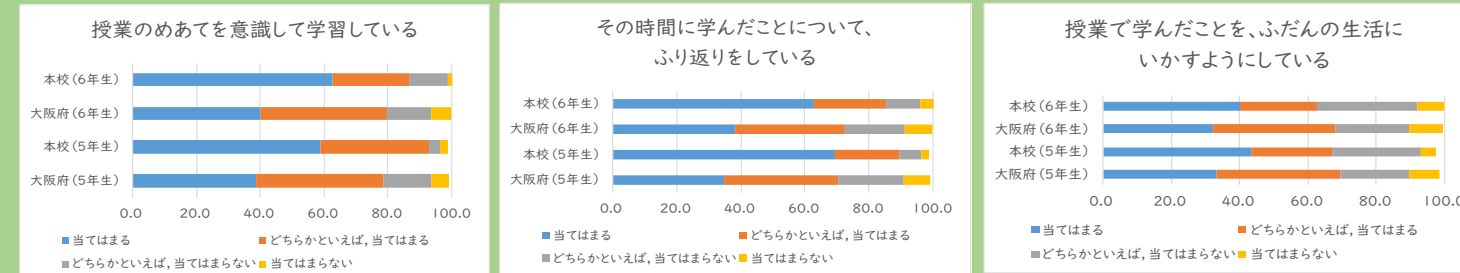
食品ロスなどの課題に対して、解決方法を自分で考えたり、注意を呼び掛けるポスターを作ったりすることは正答率が高かった。一方で、複数の資料から情報を読み取って理由などを書くことに課題がありました。

## 児童アンケートの結果

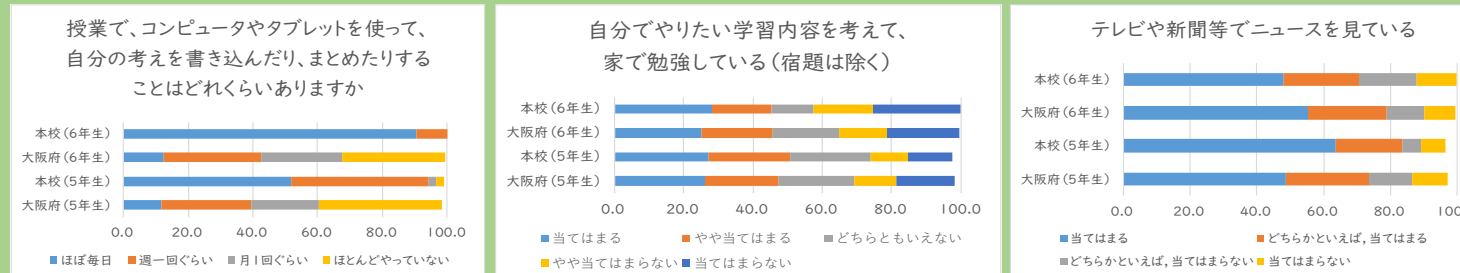
### 目標に向かって頑張る力・好奇心



### 学校・授業での様子



### 授業・家庭での様子



## 今年度の結果及び今後の取り組みについて

すくすくウォッチにおける本校児童の平均正答率は、大阪府平均より高い割合を示していました。また、児童アンケート結果においても概ね肯定的回答の割合が高いという結果となりました。全国学力学習調査と同様に成果や課題があり、定着しきれなかったものに関しては、授業の中でしっかりと復習をしていきます。また、iPadなどのICT機器を効果的に活用した授業づくりなど、Hirakata授業スタンダードに基づいた授業改善に取り組みながら、本校の教育目標でもある「よく学び 思いやりのある たくましい子」の育成をめざしていきます。